1月11日シフォンを車に抱き入れてからすぐにニャーニャーと鳴き始め心細そうにしていました。家に着いてからも屋内の探検をすることもなくボイラーの下に入り込み借りてきた猫そのものでした。少し慣れてきて 2 階の部屋の机の下に隠れたり、暗い所でジィーとしていることも多かったので心配しましたが、2～3日すると居間で生活するようになりました。おっとりした性格で、静かに暮らすのが好きなようですが我々夫婦が奪い合い引っ張り合うのがストレスかもしれません。今では下女の寝床を自分の寝場所の一か所と定めたようで夜半寒くなると入り込みイビキにも耐えて眠り続けています。そのせいで我々の起床時間が少々遅くなりました。

やさしくおっとりした性格は、老夫婦の生活にもフィットしています。シッポを立てて歩くことの無い猫ですが、今少し心が通い合えば、我々の前を曲がった尾をニョキっと立ててご機嫌で通り過ぎる姿を見ることができるかもしれません。外出してても帰宅が楽しみな毎日です。

シフォンが来てから死んだ猫、チャチャのことをよく思い出し、話をするようになりました。思い出すことが供養だとすれば、シフォンの大きな功績です。